

2024年	8月			2024年	9月		
	11:15	13:30	15:00 イベント		11:15	13:30	15:00 イベント
1 木	一般	一般	一般	1 日	一般☆	一般	一般
2 金	一般	一般	一般	2 月	一般※	一般	一般
3 土	一般☆	一般	一般	3 火	貸館		
4 日	一般☆	一般	一般	4 水	貸館		
5 月	一般	一般	一般	5 木	一般※	一般	
6 火		貸館		6 金	一般※	一般	
7 水		貸館		7 土	一般☆	一般	一般
8 木	一般	一般	一般	8 日	一般☆	一般	一般
9 金	一般	一般	一般	9 月	おにクル休館日		
10 土	一般☆	一般	一般	10 火	休館	※保守点検	
11 日	一般☆	一般	一般	11 水	休館	※保守点検	
12 祝	一般☆	一般	一般	12 木	一般※	一般※	一般
13 火	おにクル休館日			13 金	一般A	一般	
14 水		貸館		14 土	一般☆	一般	一般
15 木	一般	一般	一般	15 日	一般☆	一般	一般
16 金	一般	一般	一般	16 祝	一般☆	一般	一般
17 土	一般☆	一般	一般	17 火		貸館	
18 日	一般☆	一般	一般	18 水		貸館	
19 月	一般	一般	一般	19 木	一般※	一般※	一般
20 火		貸館		20 金	一般※	一般※	一般
21 水		貸館		21 土	一般☆	一般	一般
22 木	一般	一般	一般	22 日	一般☆	一般	一般
23 金	一般	一般	一般	23 祝	一般☆	一般	一般
24 土	一般☆	一般	一般	24 火	おにクル休館日		
25 日	一般☆	一般	一般	25 水		貸館	
26 月	おにクル休館日			26 木	一般※	一般※	一般
27 火		貸館		27 金	一般※	一般	一般
28 水		貸館		28 土	一般☆	一般	一般
29 木	一般※	一般※	一般	29 日	一般☆	一般	一般
30 金	一般※	一般※	一般	30 月	(ちびっこ)	一般※	一般
31 土	一般☆	一般	一般				

※日程や内容などは事情により変更となる場合があります。詳細は公式ホームページでご確認ください。

ブラックホール通信Neo

編集発行:きたしんプラネタリウム

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル7階

〒567-0888 大阪府茨木市駅前三丁目9番45号

TEL 072-631-0296 (おにクル)



プラネタリウム 定員56人
観覧料 大人400円 4歳から中学生200円 3歳以下無料

一般投影 約45分/要観覧料
当日券売

今夜の星空とともに解説員がご案内

一般 「流れ星とほうき星」(8/1~9/30)

一般☆ おあいこさんTime 土日祝11:15

内容は一般投影と同様。
多少の声や音を出してもおあいこさん☆
お子さま連れや不安のある方もお気軽に。

一般A おとなTime ※主に第2金曜13:30

内容は一般投影と同様。静かにじっくり楽しむ時間

一般※ 団体/一般 団体投影がない場合、一般投影

ちびっこ投影 約30分/要観覧料WEB申込

小さなお子さまのための投影

8/19(月) ① 9:30~ ② 10:15~

先着順/申込受付開始 8/1 10時~

9/30(月) ① 10:15~ ② 11:15~

先着順/申込受付開始 9/1 10時~

スペシャル投影 その時だけの特別な投影

解説員SP「ペルセウス座流星群」当日券売

8/12(祝/月) 16:15~約45分/要観覧料

天体観望会 【自由参加】
申込不要・無料

望遠鏡で宇宙をみてみよう!

*雨天・曇天時中止(web・SNSでお知らせ)

*天候等により、見る天体が変更になる場合有

8/10(土) 20:00~21:30 IF芝生広場

9/15(日) 20:00~21:00 IF芝生広場

サイエンスアワー

3ページ目(中面)に詳しく紹介

[Full]

おにクル×大阪大学大学院理学研究科連携事業

特別講演会 in きたしんホール

『月科学の最前線』

9/15(日) 19:00~20:30(90分)

講師:寺田健太郎教授

(大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻)

定員:200人 料金:500円※当日支払現金のみ

WEB申込先着順/申込受付開始 8/1 10時~

[Medium] 100円/当日券売

8/24(土) 『星砂カード/さそり座』

9/28(土) 『虹ミエールを作ろう』

[Light] 無料 12:00~12:45

8/3(土) 『ダジックアース/月』

9/21(土) 『太陽を見よう』

流れ星とほうき星

※この図は、画像生成AIが描きました。残念ながら間違いが含まれています。答えは番組の中で!

2024年 8月・9月の一般投影

夏の投影/今夜の星空と「流れ星とほうき星」

今夜の星空と季節のテーマを解説員がご案内します。8月の「ペルセウス座流星群」、9・10月に接近する「紫金山・アトラス彗星」を中心に、流れ星とほうき星のちがいの関係などについてご紹介します。

今年は条件が良さげな



© oldspica

ペルセウス座流星群!!

久々の大彗星!



なるか?

次回 2024年10月・11月のプラネタリウム

秋の投影 今夜の星空と「月~地球の風が届く場所」 私たちに身近な天体である「月」について考えてみましょう。



9月1日 21時頃の星空

8月の宵の遅い時間帯に、夏の大三角が空の高い位置に見えます。8月10日の夕刻には、関東よりも西の地域で、月がおとめ座の1等星スピカを隠す「スピカ食」が南西の低空で起こります。9月は、8日に衝となる土星に注目。衝の頃の惑星は一晩中空に見えています。今年の中秋の名月は9月17日です。

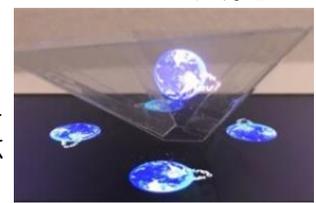
ペルセウス座

モデルとなった勇者ペルセウスは、天馬ペガスにまたがり、化けクジラに襲われかけていたアンドロメダ姫を救出するといった英雄物語に登場します。しかし、後に結婚する姫の足元もしくは義母カシオペヤのすぐ隣と、ずいぶんと肩身の狭いところに描かれているように見えます。周辺の星を結びと、[人]や[π]のように見るとされ、カシオペヤ座の[WまたはM]の形をヒントに辿ってみましょう。



ピックアップ スリーディー 「3Dホログラム」

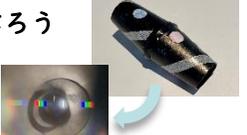
3次元の空間情報を2次元像上に保存する技術のことをホログラフィー、その技術からできた像をホログラムと言います。一般的な2次元(平面)の画像は、光の強度情報(明るさ)のみが保存されるのですが、ホログラムは光の位相情報も保存されます(すなわち、光の波面情報が保存されます)。※位相:繰り返される現象の一周期のうちある特定の局面のこと
これにより、ホログラムを見る人の位置によって、異なる向きから見た物体像を観察することができ、再生された物体の像は立体的に見えます。
この仕組みは、店頭装飾や商品ディスプレイ、アミューズメントとして活用の幅が広がっています。



8/24(土) 星砂カード/さそり座
星砂を使ってオリジナルカードを作る
《定員:各15人》
※時間中いつでも参加OK
※混み具合によりお待ちいただく場合有り。



9/28(土) 虹ミエールを作ろう
虹が見えるシートで虹を見る
《定員:各10人》
※対象:小学生と保護者



[Light] 無料 12:00~12:45

8/3(土) 『ダジックアース/月』
球状に映し出される天体
9/21(土) 『太陽を見よう』
活動期の太陽を見ます。



解説員のひとことコラム vol.04 テーマ:天文に興味を持ったきっかけ 今回の担当:せお

4人の解説員の「天文に興味を持ったきっかけ」を紹介!

きっかけ① 「国立天文台(NAOJ)」&天体望遠鏡などを販売している「ビクセン」
実家がある西武池袋線沿線に、国立天文台(三鷹市)とビクセン(所沢市)があります。子供の頃から国立天文台の見学に行ったり、大学院時代にビクセンの観望会スタッフのアルバイトをしたりする機会があり、自然と天文に興味を持つようになりました。



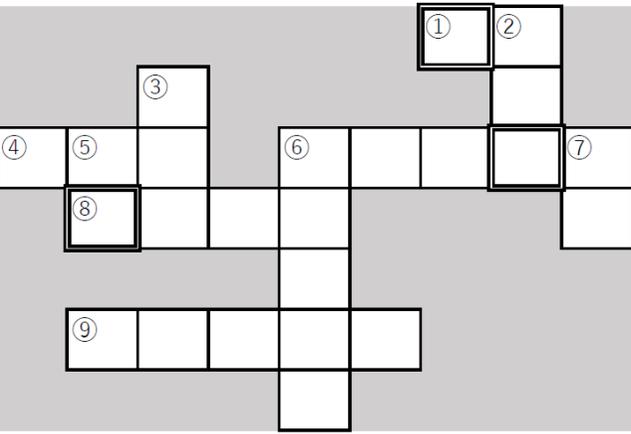
きっかけ② 美少女戦士「セーラームーン」
月刊「なかよし」で連載をしていた原作で、ギリシャ神話に登場する月の女神セレーネーと美青年エンデュミオンの恋の物語、太陽系の構造、いて座A*(スター)などを知り、星座や神話、天文に興味を持つようになりました。



	日の出	日没	月の満ち欠け		惑星の見え方	
8/1頃	5:08	19:00	8月	9月	水星	△(8月上旬夕方西・下旬明け方東)◎(9月上旬明け方東◎(9月中旬))
8/15頃	5:18	18:46	新月	4日	金星	△(8月・9月夕方西の空)
9/1頃	5:30	18:24	上弦	13日	火星	△(8月・9月 明け方東の空)
9/15頃	5:40	18:04	満月	20日	木星	△(8月・9月 明け方 東の空)
9/30頃	5:51	17:43	下弦	26日	土星	○(8月深夜から明け方)◎(9月ほぼ一晩中)



きたしんプラネタリウム クロスワードパズル Vol.04



- 【横のキーワード】《解答はおにクル7Fプラネタリウム前に》
- ① 左の反対
 - ④ まわりは緑、中は赤
 - ⑥ 織姫と彦星の間に流れる
 - ⑧ おとめ座とさそり座の間の星座
 - ⑨ 人食いししを退治した勇者
- 【縦のキーワード】
- ② 無数の星やガスの集まり
 - ③ 時計ではかるもの
 - ⑤ 弓をひく半人半馬の星座
 - ⑥ さそり座の赤い一等星
 - ⑦ アルタイル(彦星)を含む星座

茨木プラネタリウムの50年 vol.04

天文観覧室の歴史をQ&Aでとどります。

Q. 50円を握りしめて見に行った記憶は正しい?



天文観覧室時代の観覧券(半券)

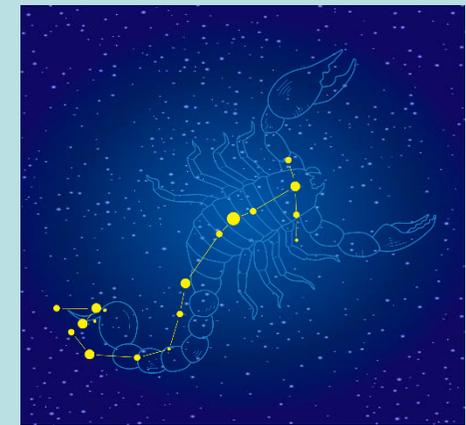


新プラネタリウムの券売機

1973年開館当時の天文観覧室のプラネタリウム観覧料は「大人50円、こども30円」。その後「大人100円、こども50円」と改定されましたが、40年以上変わらないまま。2023年の閉館まで、小中学生が駄菓子屋に行くように、十円玉を5枚握りしめてプラネタリウムに来る姿がみられました。

天文観覧室では観覧券は投影開始前に手売りしていましたが、おにクルの新プラネタリウムでは、券売機を導入することでクレジットカード・QRコードなどのキャッシュレスにも対応できるようになりました。「昭和から一気に令和?」の券売の変化も体験してみてくださいね。

きたしんプラネタリウム 88星座カタログ☆Ⅲ vol.04 さそり座



夏の夜、南の空低く、真っ赤に輝く一等星アンタレスが目印となるさそり座。特徴的なS字のカーブは、「釣り針」に見立てられることも多く、「魚釣り星」や「釣り星」などの名前が伝えられています。